

## 令和4年度 英語研修5（スピーキング）報告書

【開催日時】 令和4年10月23日（月）・24日（火）

① 23日 10:00～11:30

② 23日 13:30～15:00

③ 24日 10:00～11:30

④ 24日 13:30～15:00

（各回のプログラムは同じ）

【開催場所】 WEB（Zoom）

【講師】 梅村綾子（名古屋大学博物館 特任助教）

【参加対象者】 大学の技術職員、技術支援員（パート、派遣等含む）

【定員】 各回3名

【目的】 大学や研究機関でのグローバル化に伴い、技術職員が留学生や海外研究者の対応を行なう機会が増している。本研修では、留学生との英語コミュニケーションの練習を中心に行う。

【プログラム】

短時間の英語スピーキング研修。1時間半という短い時間の中で、実際の業務で英語を使用する場面を想定した実践的・体験的なプログラムを実施。

- ・自己紹介&ミニ講座（30分）疑問文をつくろう
- ・ロールプレイ（45分）
- ・まとめ（15分）

【事前提出物】

研修の1週間前までに、ロールプレイに使用する資料の提出（写真、関連する Keyword リストなど）

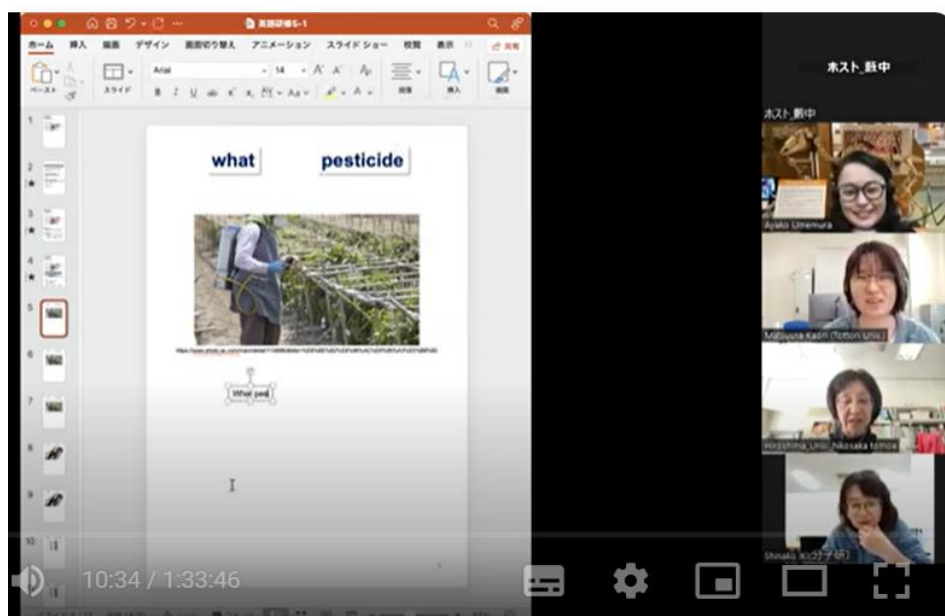
【参加者】 13名

【報告】

研修のメインプログラムであるロールプレイは、1人が技術職員役、残りが留学生役となり、英語でのやり取りを行う形式で実施した。短時間ながらも非常に充実した内容の研修となった。研修後のアンケートからは、参加者から高い満足度が得られていることが示された。研修は実践的なものであり、参加者の英会話スキル向上、学習のモチベーションの維持に貢献しているとの意見が多かった。講師の発話しやすい雰囲気づくりや声掛け、英会話上達に向けた心構えの説明などもあり、参加者に非常に寄り添った研修であった。現在の形式（短時間・スピーキング・オンライン）での定期的な開催を望む声があり、今後も継続しての開催が望まれている。

【当日の様子】

ミニ講座



ロールプレイング

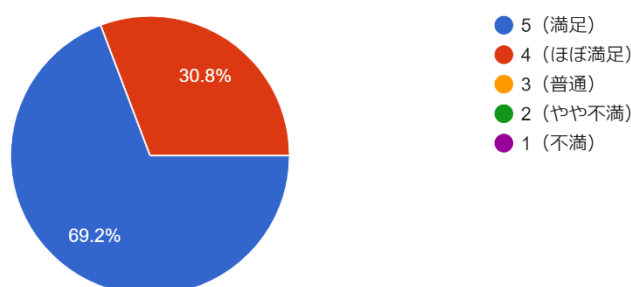


## 【アンケート結果】 回答数 13

### 研修の満足度

#### 研修の満足度

13件の回答



### 研修の良かった点

- ・ 実際担当している装置について話したことが、良かったです。
- ・ 受講者が事前に準備した内容だけでなく、突発的事象への対応の訓練があったこと。実際に自分が管理する装置を使った説明を行えたこと。
- ・ 装置の説明をするには専門用語やフォーマルな表現をいろいろと新たに調べる必要があり、準備の時点で新しい表現を学ぶことができた。また、本番ではウォーミングアップの甲斐もあり、次々に質問を考えることができた。また、英語で話す自信がついた。
- ・ 非常に実践的な内容だった点。強制的に自分が英語で話さなくてはいけない状況があり、かつその準備をする機会が前もって与えられた点。
- ・ 久々のアイスブレイクがとても楽しかったです。以前より英語の瞬発力が上がっていると実感できました。でも、瞬発力と引き換えに文法の正確さが失われているのもわかったので、今後は「素早く、正確な」英語を目指します。また、ロールプレイングではリアルな現場の雰囲気が体験出来て良かったです。技術職員役の方が質問に対して真摯に答えているのを聞いて、留学生役としてすごく安心できました。
- ・ 普段使用している装置を題材にすることでより実践的な表現を学べる点。
- ・ メインの内容の前にミニ講座があるのも、準備運動的な感じでよいと思います。
- ・ 聞きたかったことが聞けました。
- ・ 実際日常的に想定される場面設定だったこと。
- ・ 事前準備が課されたことで、発表に対する心の準備ができ、自分の足りない点にフォーカスしながら研修を受けることができた。
- ・ 少人数のグループワークだったので、気兼ねなく発言できた。
- ・ 講師の方のポジティブな声掛けに励まされた。
- ・ オンラインだったので、移動時間がなく業務との調整をつけやすかった。

- ・ 自分の英会話能力のリハビリになった。
- ・ どうすれば英語で話せるかアドバイスをいただけたこと
- ・ 積極的に話せる機会がたくさんあったこと
- ・ 他の人の要約が聞けるところ
- ・ 短時間でも集中して英語を聞く時間が持てたこと。
- ・ わからないところはフォローしていただいたり、アドバイスをいただいたりできて、とてもためになりました。

#### 今回の研修はご自身の業務にどのように役立ちそうですか？

- ・ 留学生の対応をする時に英会話ができそうです。
- ・ 直接的には、今回研修で扱った装置の英語での説明へ役に立ちそうということと、間接的には語彙力の欠如という点が最も自分の弱点とわかり、今後の英語学習への方針が立てやすくなったこと。
- ・ 留学生の方が来られるときはたとえ完璧な英語ではなくても、臆さずにどんどん質問をしたり質問を受けたりして、オープンマインドの精神を大切にしたいと思った。そのような心構えを学べて、とてもよい勉強になった。
- ・ 海外の留学生や研究者に対して装置の使い方等を説明するにあたって、どのように準備すればよいか具体的にイメージすることができた。
- ・ 今回のアイスブレイクのようなハードルの低いワークは、Slack や学内で仲間を集めて定期的にやりたいと思いました。また、ロールプレイングで実感した「聞き手が安心できる会話には、英語力だけでなく話し手の真摯な態度も重要」という気づきを今後の業務に役立てたいと思います。
- ・ 実際に説明したりされたりするので、伝わりやすい説明がどのようなものかを考えるのに役に立つと思います。
- ・ ひとまず、装置の導入ぐらいは説明できそうです。
- ・ 普段使用する装置の用語は覚えやすいし、日常的に身につけやすい。
- ・ この先留学生対応が増えていくなかで、英語で装置の説明を行うための指針になった。
- ・ 装置ごとに事前準備物を作成しておくことで英語対応時に役立つ、との気づきを得た。"
- ・ 今回、装置の操作で必要な英語を調べました。
- ・ 同じように、他の装置の英語マニュアルを作成すれば、日本語が理解できない利用者にも説明できると思います。
- ・ 今回は留学生役でのみの参加でしたが、普段は「英語で質問」となると語学力が不安で諦めてしまいがちですが、どうしても英語で質問しないといけない状況に置かれたのが良かったと思いました。
- ・ 英語で質問する、答える練習は、現場での留学生対応に役立ちます。
- ・ 装置を利用しに来る留学生の対応に役立ちます。

### 今回の研修の感想・改善点や、今後の技術英語研修に期待することなど

- ・ 今回、他の方が欠席されて装置の説明が聞けなかったのは残念でしたが、代わりにスタッフの方が対応してくださって楽しかったです。
- ・ 研修その場だけでなく、日常(職場に限らない)場面で英語の学習ができるような課題があるとよいと思います。
- ・ いつも楽しく英語を勉強できる機会を下さってありがとうございます！参加回数を重ねるたびに自分の英語力が向上しているのを感じています。今後ともよろしく願いいたします。
- ・ 定期的に、継続して続けていただきたい
- ・ Zoom で画面越しにロールプレイングするのは時間的にも金銭的にもありがたいのですが、やはり実機を触りながらの練習もしたいですね。オンライン研修の頻度を維持しつつ、対面研修が増えると良いですね。
- ・ 資料写真の、装置の一部分をピンポイントで指し示すことができないのが、ややもどかしかったです。
- ・ メール作成について教えていただきたいです
- ・ 全館放送のため、呼び出しの声や途中で抜けることがあり、毎回申し訳なく思います。
- ・ 今後もこのような研修が続くよう希望します。
- ・ 初めての参加で、かなり戸惑ってしまいました。
- ・ 今後も参加して、少しでも英語力を取得していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 久しぶりに参加させていただきましたが、とても楽しく英語を学ぶことができました。今回は、英語でフリートークする時間もあったのですが、お互いのこと(業務やこれまでの経験など)を良く知れて良かったです。研修のプログラム組み立て的に難しいのかもしれませんが、フリートーク(研修にするならテーマを決めてディスカッション?)みたいなのも久しぶりにやりたいです！
- ・ 参加すると自分のモチベーションアップにつながるので良かったです。
- ・ 久しぶりに参加しましたが、短時間で学ぶところが多く、とても有意義な研修だと改めて思いました。定期的開催していただくと、モチベーション維持や技術交流にも役立つと思います。